

特定非営利活動法人

『どーんと・せーの！！』

組織の概要

- * 代表者：理事長 北山 佳生
- * 活動拠点：海部郡海陽町角坂字南の内44番地2
- * 所在地：海部郡海陽町角坂字天神後56番地1
- * 活動分野：保健、医療又は福祉の増進、まちづくり、
経済活動の活性化、職業能力の開発又は雇用
機会の拡充、活動団体の連絡助言又は援助

- * 活動地区：海部郡
- * 連絡先 (TEL)：0884-76-3176
- * 連絡先 (FAX)：0884-76-3176
- * HP：http://www9.plala.or.jp/
campnakazato/main.html

活動をはじめた「きっかけ」

暮らしやすい気候、豊かな自然、適度な耕地など誇るべきふるさとである海部郡では、この60年間で人口が半分まで減少した。その、人口減少を食い止めるため、また魅力あふれるふるさとづくりに寄与するため、海部郡全域で10年後のまちづくりを話し合う会「ゆめのまち研究会」を設立。

その後、研究と提言を行うことにより、地域の暮らしや介護、子育てまた産業活動などを支援するため、平成18年に、特定非営利活動法人『どーんと・せーの！！』を設立。

現在の主な取り組み

『誇るべきふるさと海部郡のために』 ～人口増を目指して魅力的なふるさとづくり～

* 限界集落の応援

生まれ育った場所で、暮らし続けるために、移動手段のない人に「乗合便」を提供、また独居世帯に対応する「緊急連絡と見守りサービス」を実施。

現在、漁師が捕れすぎた魚や農家が作りすぎた野菜、また、要らなくなった雑貨など、希望するものを交換できる「物々交換市場（ワゴン販売）」を準備中。

* セカンドハウスプラン

地域に移住を希望する人たちに田舎暮らしをすすめる活動や移住希望者への空き家紹介や、働く場の相談などを実施。

今後、移住希望者のために、円滑に空き家の借用を可能とするために、地域協定の締結などを検討中。

※地域交流拠点である「ベースキャンプ中里」

▼活動メンバー（中央：北山理事長）



▼ベースキャンプ中里



～活動団体の声～

人口減少に歯止めをかけたいと活動を行っているが、地域では、まだまだ過疎化することへの懸念が切実に受け止められていない。しかし、住民自らの力で、地域を守るため、また魅力を高めることで、移住を希望してくれる人を増やすため、活動を継続していきたい。

さらには、「本当の意味での地域が支え合う仕組みづくりと発展」を目指して、活動に対する地域住民の理解を深め、行政や他機関・他団体との連携を図りたいと考えている。